

- 系 統 2液型エポキシ樹脂系モルタル
- 特 長 1) 物理的強度や化学的性能および耐久性に優れる。
2) コンクリートへの接着性や耐薬品性に優れる。
3) 耐衝撃性および耐摩耗性に優れる。
- 用 途 1) カットオフジョイント用端部材

配 合 比

種 類	結合材	骨材 [*]	
	#303C	接着剤用 硅砂4号	接着剤用 硅砂7号
SBモルタルC (1:4)	10kg	20kg	20kg
SBモルタルC (1:5)	10kg	25kg	25kg

※必ず当社指定の「接着剤用硅砂4号」、「接着剤用硅砂7号」を使用してください。

- 荷 姿 1) #303C…10kgセット (主剤+硬化剤)
2) 接着剤用硅砂4号…25kg/袋
3) 接着剤用硅砂7号…25kg/袋

可使時間の目安
養生時間
(SBモルタルC)

結合材のタイプ		冬 用 (W)			夏 用 (S)		
温 度 [℃]		5	10	20	15	20	35
可使時間 [分]		70	60	20	40	25	7
養生時間 [時間]	1:4	48	48	24	48	24	16
	1:5	48	48	24	48	24	16

※圧縮降伏強さが24N/mm²以上となる時間と養生時間とした。

注) 早期に強度を発現させたい場合は、加温養生してください。

- 比 重 1) SBモルタルC (1:4) 1.95±0.10
2) SBモルタルC (1:5) 2.00±0.10

- 使 用 方 法 1) #303Cをセット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。
2) 主剤と硬化剤を、攪拌機を用いて均一になるまで混合攪拌する。
3) 骨材を所定の配合で、モルタルミキサー等で混合攪拌する。
4) 混合した骨材に、攪拌しながら#303Cを加え、均一になるまで攪拌する。
5) モルタル敷設面にプライマーとして#303Cを塗布する。
6) プライマーの硬化前に、モルタルをコテなどで転圧しながら、所定の厚さに仕上げる。

- 使用上の注意 1) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイトンス、汚れ、水分の除去)
2) 可使時間内に作業を終了する。
3) シンナーや水を混入して使用しない。
4) 低温時には、#303Cの主剤や骨材をジェットヒーター等により加温すれば、混合が容易になり、養生時間も短縮することが可能となる。
5) 施工後、降雨や濃霧等の恐れがある場合には、シート等を被せて養生を行う。
6) 高温時の可使時間が短いため、直射日光を避けて保管のこと。

⚠ 注 意

- 健康上、注意を要する物質を含有しています。
- 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
- 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
- 詳細についてはショーボンド#303Cの安全データシート(SDS)を参照してください。